

A R C S テンプレート

効果的な技法解説の構造

[技法名] (ユーザの一言効能)

A : 聞き手が面白いと思うだろうことや、人間の認知の傾向についての話題、くせに起因するありがちな失敗のスタイル

R : 聞き手にとって、それはどういう場面で役に立つのか、具体的で短い例

C : プロセス (どうやるのか) の本質を、簡単に明確な言葉で紹介

S : やった事例、出たアイデアの例

では具体的に